

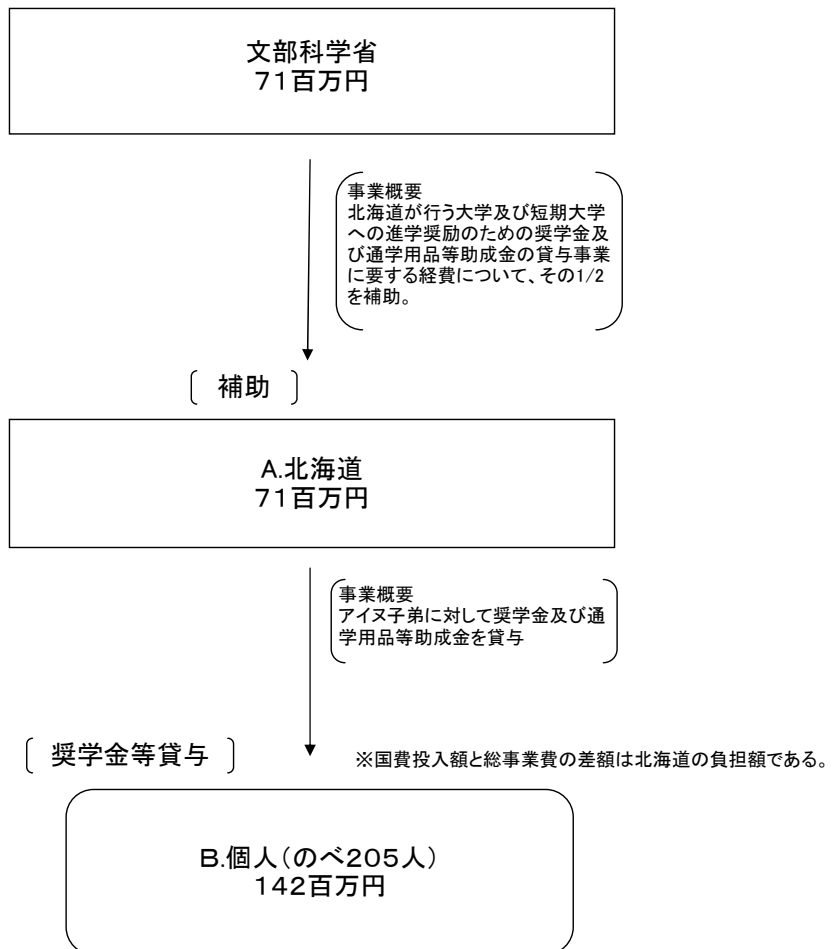
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	アイヌ子弟高等学校等進学奨励費補助(大学)	担当部局庁	高等教育局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和51年度	担当課室	学生・留学生課	学生・留学生課長 松尾泰樹				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ-8 教育機会の確保のための支援づくり					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、 通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	北海道に居住するアイヌの子弟で、大学又は短期大学に進学する能力を持ち、将来、社会において有為な人材として活躍することが期待されながら、経済的理由によって進学後修学が困難な者に奨学金及び通学用品等助成金の貸与事業を行う北海道に対し、その経費の一部を補助することを通じ、北海道のアイヌの子弟の大学、短期大学への進学を奨励し、社会的・経済的自立を促進するもの。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	北海道が行う大学及び短期大学への進学奨励のための奨学金及び通学用品等助成金の貸与事業に要する経費について、その1/2を補助。 ①経済的な理由により進学後、修学が困難な者に対して、奨学金を貸与する。 ②経済的な理由により進学後、修学が困難な者に対して、通学用品等助成金を貸与する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	80	89	83	72	65	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	80	89	83	72	65	
	執行額		76	78	71			
執行率(%)		95.0%	87.6%	85.5%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	北海道が行うアイヌ子弟のための奨学金事業に対して、教育機会均等の観点から、それに要する経費について補助を行っているところであるため、成果目標及び成果実績の目標値を設定することは馴染まない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	貸与延人数		活動実績 (当初見込み)	人	220	230	205 (243)	(209)
単位当たり コスト	35(万円/人)		算出根拠	単位当たりコスト ＝平成22年度補助金額(71百万円)／貸与延人数(205人)				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内 訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	奨学金	71百万円	64百万円	※これまでの執行実績を踏まえた貸与人員及び貸与金額の見直しによる減				
	通学用品等助成金	1百万円	1百万円					
計	72百万円	65百万円						

事業所管部局による点検																											
	評価	項目	特記事項																								
目的・状況・予算の	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。																									
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。																									
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。																									
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。																									
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。																									
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。																									
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。																									
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																									
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	辞退者が現れたこと等により活動実績が見込みを下回っている。																								
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。																									
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。																									
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。																									
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。																									
点検結果	・北海道に居住するアイヌ子弟に対して、北海道と連携し、奨学金等を貸与することで、進学率は着実に向上している。 ・しかしながら、決算不用が生じているため、制度の普及を図るとともに、需要等の把握に努めることが課題であり、事業主体の北海道と更なる連携強化を図ることとしている。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に北海道から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・平成23年度においては、過去5か年の実績を踏まえた増加率に基づき、貸与人員及び貸与金額の見直しを行い、予算規模を減額している。																										
	<table><tr><th colspan="5">北海道における大学・短大への進学率</th></tr><tr><th></th><th>昭和61年</th><th>平成5年</th><th>平成11年</th><th>平成18年</th></tr><tr><td>一般</td><td>27.4%</td><td>27.5%</td><td>34.5%</td><td>38.5%</td></tr><tr><td>アイヌ</td><td>8.1%</td><td>11.8%</td><td>16.1%</td><td>17.4%</td></tr><tr><td>格差</td><td>-19.3%</td><td>-15.7%</td><td>-18.4%</td><td>-21.1%</td></tr></table> 出典：北海道「アイヌ生活実態調査」			北海道における大学・短大への進学率						昭和61年	平成5年	平成11年	平成18年	一般	27.4%	27.5%	34.5%	38.5%	アイヌ	8.1%	11.8%	16.1%	17.4%	格差	-19.3%	-15.7%	-18.4%
北海道における大学・短大への進学率																											
	昭和61年	平成5年	平成11年	平成18年																							
一般	27.4%	27.5%	34.5%	38.5%																							
アイヌ	8.1%	11.8%	16.1%	17.4%																							
格差	-19.3%	-15.7%	-18.4%	-21.1%																							
予算監視・効率化チームの所見																											
一部改善	1. 事業評価の観点：この事業は、北海道に居住するアイヌの子弟で、経済的理由によって進学後修学が困難な者に奨学金及び通学用品等助成金の貸与事業を行う北海道に対する補助事業であり、長期継続事業の観点から検証を行う。 2. 所見：アイヌ子弟の進学率が向上していることは評価できるが、相対的には未だ低い状況であることから、北海道との連携の強化など、引き続き制度の普及や需要の把握に努めるとともに、貸与人数の変動により、決算上不用が生じており、平成23年度予算においても見直しを行ったところであるが、引き続き予算積算の適正化を図るべきである。																										
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）																											
事業実施にあたり、北海道との連携の強化など、引き続き制度の普及や需要の把握に努めるとともに、平成22年度の執行実績を踏まえ、貸与人員及び貸与金額を見直し、概算要求に▲7百万円反映した。																											
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）																											

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



A.北海道			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	奨学金	70			
	通学用品等助成金	1			
計		71	計		0
B.個人A			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
奨学金	学資等	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

支出先上位10者リスト

A.交付

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道	学資等の貸与	71	-	-

B.奨学金等貸与

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	学資等	1	-	-
2	個人B	学資等	1	-	-
3	個人C	学資等	1	-	-
4	個人D	学資等	1	-	-
5	個人E	学資等	1	-	-
6	個人F	学資等	1	-	-
7	個人G	学資等	1	-	-
8	個人H	学資等	1	-	-
9	個人I	学資等	1	-	-
10	個人J	学資等	1	-	-